

# 大妻同窓会長野

## ご挨拶

一般財団法人大妻コタカ記念会

会長 井上小百合

大妻同窓会長野の皆様にはお健やかにお過ごしのことと存じます。

昨年はコロナウイルス感染拡大により、全国的に人々の行動が大きく制約を受け、記念会活動もほとんど中止になってしまいました。毎年の恒例である大妻神社への参拝もかなわず、同窓会長野の皆さまとも顔を合わせることが出来ず何とも残念でした。

このような状況を経験すると、会員の皆様が一年に一度顔を合わせ楽しい時間を持つことがどんなにか大切であるかを実感いたします。

ワクチン接種が順次始まり、今後この事態が大きく転換していくことを願うばかりです。

今年の2月からNHKで渋沢栄一を主人公にした大河ドラマ「青天を衝け」が放映されています。

ご存知のように幕末に生まれ明治の時代に日本の資本主義の礎を築いた人で、多くの会社の設立に力を尽くしながらも、それらを私物化することなく、大勢の人が利益を受けることによって日本全体を豊かにしなければならないという信念を持っていた人です。

渋沢栄一の思想の根底には「論語」があり、私利私欲を捨て社会のために、という考えは、私財を持たずすべての学校のためにという大妻コタカ先生の考えに通じるものがあると思います。実際に大妻が塾から学校になった今から約100年前の大正6（1917）年に、渋沢氏は大妻を訪れ建築中の校舎をバックに写した写真が残っています（『ふるさと』69号 平成29年号参照）。両者に親交があったことが伺え、渋沢氏に親近感を持ちました。

昨年、大妻コタカ・良馬研究所との共同作業として「女子教育の先駆者大妻コタカ」と「コタカ先生からあなたへ」の2本の動画を作成し、地方同窓会の代表の方を始め関係の各所に配布しYouTubeにもあげ、広く見ていただきコタカ先生のことをより多くの方に知っていただけるように努めました。YouTubeをご覧いただける方は記念会のホームページで紹介していますのでクリックしてご覧くださいませ。

同じ学校で学んだ同窓生としての繋がりを大切に、これからも大妻同窓会長野が着実な歩みが続けられることをご祈念申し上げます。



## ご 挨拶

大妻地方同窓会長野

代 表 折井 理智子

会員の皆様におかれましては如何お過ごしでいらっしゃいますか。

去年に続きコロナに振り回されている毎日で、一日も早い収束を願うばかりです。

一昨年になりますが二十三回総会（伊那市）では一人一人のお話が伺え盛り上がった楽しい一時でした。あの様に皆様の貴重な時間を一緒に過ごせたら・・・と思いながら計画したのですが、ワクチンと同時に変異性コロナの発生、このような状態では本年度も開催する先が見えません。担当者として本当に申し訳ない気持ちです。

令和二年九月二十二日、二十三日の大妻神社例祭は縮小との事、私一人参拝させて頂きました。

外の飾りはなく、神社内には奉納されたのか長提灯が沢山吊ってありました。（提灯は古いので経費の都合上少しずつ修理に出しているとの事）総代のお二人が掃除をしながら神主さんをお待ちしている状態でした。

地域の守り神社として労働する姿は清らかでした。

報告にもなりません、安心して楽しめる集いが出来ることを信じて皆様一人一人ご自愛頂き、再会を楽しみにいたしましょう。

四月二十四日役員会にて、会報も縮小し発送させて頂きます。



## 会費納入のお願い

会費未納又は平成30年度で会費の切れる方には振替用紙を同封しております。

◆郵便振替

口座番号

◆振込先

ゆうちょ銀行 0五九店（ゼロゴキュウテン）

当座預金 口座番号

受取人名 オオツマドウソウカイナガノ

一年間 1,000円（何年分でも結構です）

◆大妻コタカ記念会への入会もお願い致します。

会員の方には会誌「ふるさと」が配布されます。

現在の母校の様子等が細かく記載されております。

発行者…大妻同窓会長野

折井 理智子

発行日 令和3年4月30日

印刷所 (有)ミヤサカ印刷

松本市島立1144-1

0263-47-3017